

# 令和5年度 学校評価資料 (紙配付希望者数)

①学校評価(児童・保護者・教師)クロス集計結果

②保護者自由記述

③児童自由記述



## 我孫子市立布佐南小学校

① 学校評価  
(児童・保護者・教師)  
クロス集計結果

学校評価(児童・保護者・教師)集計結果のお知らせ

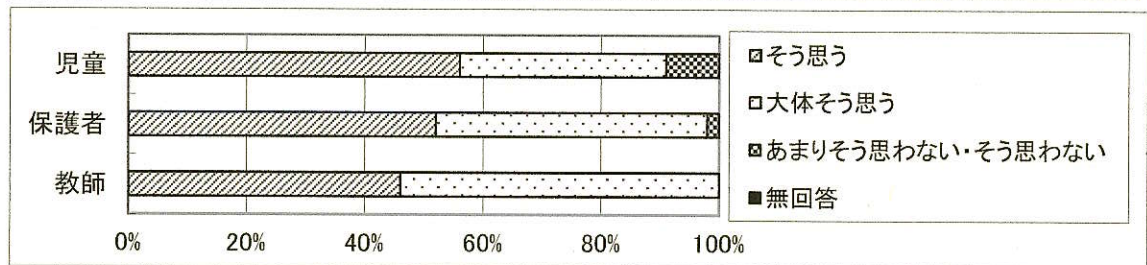
早春の候、保護者の皆様には益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。さて、過日実施しました「学校評価アンケート」(児童・保護者・教師)がまとまりましたので、結果をお知らせいたします。自由記述の欄には、温かい言葉をいただき、今後の励みとしていきます。また、一方で具体的なご意見・ご要望もいただいておりますので、真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしてまいります。

1 集計内容

※ 表内の数字は集計数を百分率%(四捨五入)で表示しています。

(1) 子どもは、学校で楽しく運動や学習をしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	56	35	9	0	100
保護者	52	46	2	0	100
教師	46	54	0	0	100

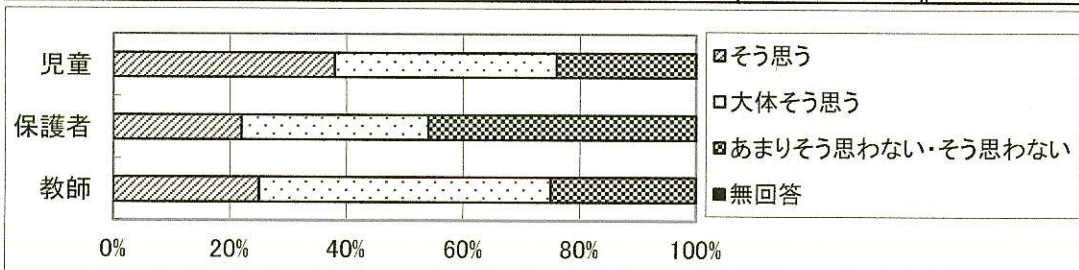


〈考察〉

児童が91%、保護者が98%が肯定的な回答をしています。しかし「あまりそう思わない・そう思わない」と回答した児童、保護者がおり、学校生活に不安を持っていることが伺えます。今後も、より一人ひとりに目を配り、寄り添い、学校・学級の中で安心して楽しく学校生活が送れるよう、指導・支援していきます。また、児童が楽しいと思える授業を目指して、教員の指導力向上を目指します。

(2) 子どもは進んで家庭学習をしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	38	38	24	0	100
保護者	22	32	46	0	100
教師	25	50	25	0	100

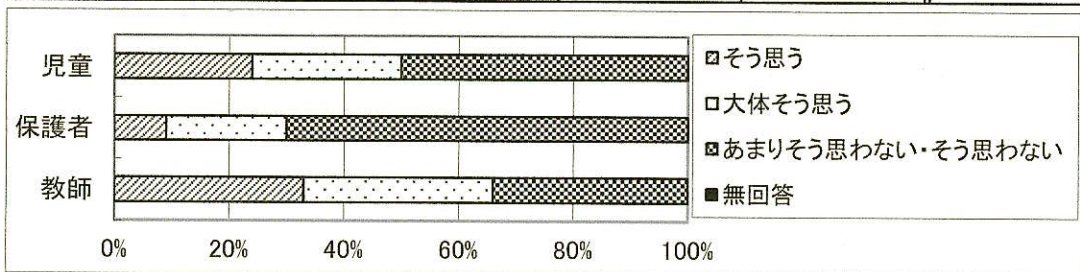


〈考察〉

児童の76%、教師の75%と肯定的な回答がやや低めです。また、保護者の肯定的な回答が54%と低い結果です。児童の学力の向上には、家庭学習の内容・方法について学校と家庭の連携を深めていくことの大切さと必要性を感じます。今後は、さらに学校から家庭への連絡を密にし、共通理解を図れるように努めます。

(3) 子どもは、学校や家庭でよく読書をしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	24	26	50	0	100
保護者	9	21	70	0	100
教師	33	33	34	0	100

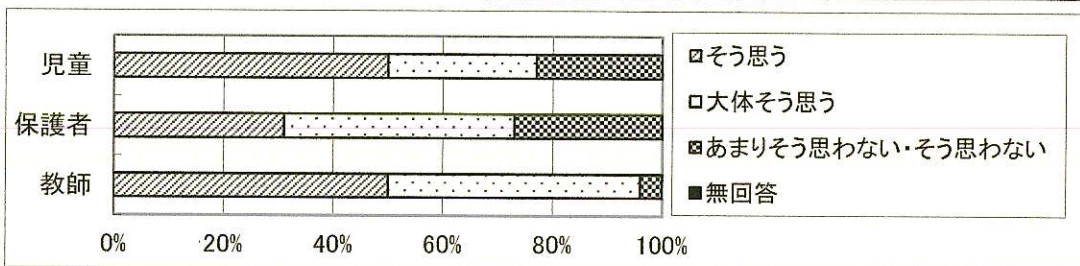


〈考察〉

保護者の肯定的な回答は30%と、とても低い結果です。また、教員、児童共に肯定的な回答が70%を下回っています。近年の生活のICT化により、児童が読書をする機会が減っている傾向にあることも原因に挙げられると考えます。学校では、さらに国語の中での読書活動を充実させ、学校図書館の整備を行うとともに、図書委員会の活動等で読書の楽しさを知らせ、進んで本を読む児童を育てていきます。家庭においても、読書の時間を確保し、本に親しめるよう声かけをお願いいたします。

(4) 子どもは、地域を学ぶ「町発見」「安全マップづくり」「我孫子の偉人」などの学習に楽しく取り組んでいる。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	50	27	23	0	100
保護者	31	42	27	0	100
教師	50	46	4	0	100

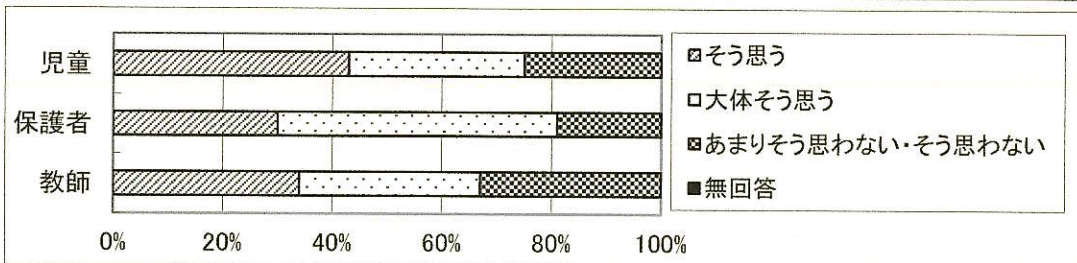


〈考察〉

教師よりも、保護者と児童の肯定的な回答が70%台とやや低い結果でした。低学年の公園探検・町探検、中学年の安全マップ作りや布佐かるた作り、高学年の布佐の偉人や地区学習など、子どもたちは意欲的に取り組んでいます。また、今年度は、保護者や地域に協力をいただいて、よりよい学習活動づくりに努めました。今後は、より一層、子どもたちが楽しく地域を学べるように、保護者や地域に周知し、協力を呼びかけていきます。

(5) 子どもは、自分からあいさつをしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	43	32	25	0	100
保護者	30	51	19	0	100
教師	34	33	33	0	100

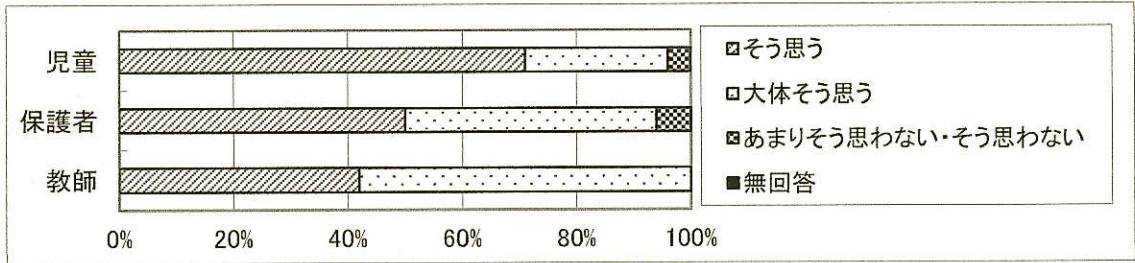


〈考察〉

児童と保護者の70%以上が肯定的な回答をしています。また、保護者の肯定的な回答は80%を超えています。明るく元気な挨拶は、学校の合言葉である「笑顔と活気」に繋がるものが浸透してきたと考えます。ただし、教員の肯定的な意見が低いことから、全ての児童が「笑顔と活気」の挨拶をできるようになるには、未だ課題があるとも考えられます。学校においては、子どもたちに挨拶の大切さを伝えるとともに、挨拶の輪を広げていけるよう、声かけや支援を続けていきます。

(6) 子どもは、友だちと仲良く生活している。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	71	25	4	0	100
保護者	50	44	6	0	100
教師	42	58	0	0	100

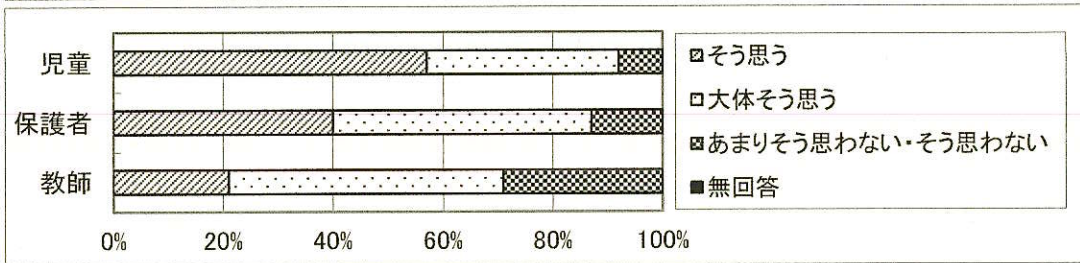


〈考察〉

児童の96%、保護者の94%、教師の100%が肯定的な回答をしています。しかし児童と保護者の「あまりそう思わない・そう思わない」という回答は、課題として受け止めたいと考えます。子どもたちが仲良く学校生活を送れるように、各担任が学級経営に努めるとともに、全教職員で子どもたちに声掛けをし、寄り添っていけるように心がけていきます。また、校内の教育相談体制を更に充実させ、安心して児童が生活できるような学校づくりに努めていきます。また、家庭との連携もさらに深めて子どもたちへの支援にあたります。

(7) 子どもは、給食を残さず食べている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	57	35	8	0	100
保護者	40	47	13	0	100
教師	21	50	29	0	100

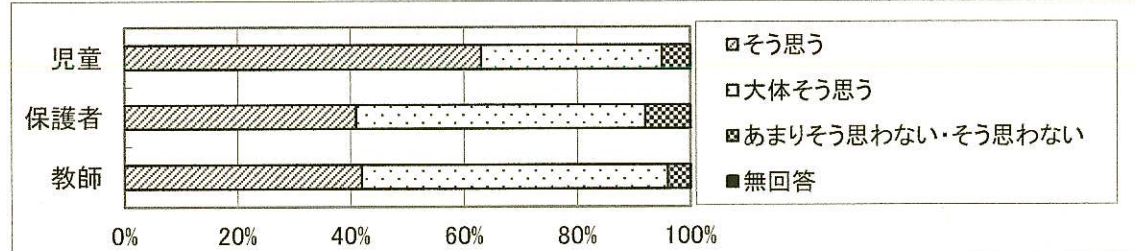


〈考察〉

児童の92%、保護者の87%が肯定的な回答をしていることに対して、教師は71%と肯定的な回答がやや低めです。給食に苦手なメニューがある児童に対して、その気持ちに寄り添いながらも、食の意義について考えさせながら、好き嫌いを減らしバランスのとれた食生活になるようにさらに栄養教諭や給食担当職員を中心に食育を充実させ指導、支援をしていきたいと考えます。

(8) 子どもは、安全に気をつけて生活している。(交通安全、避難訓練の仕方など)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	63	32	5	0	100
保護者	41	51	8	0	100
教師	42	54	4	0	100

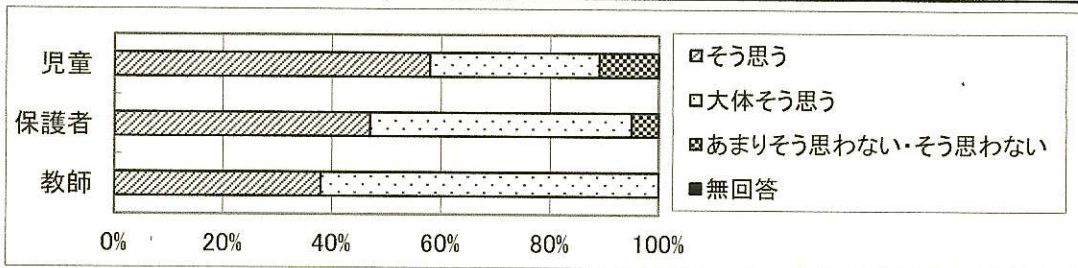


〈考察〉

児童、保護者、教師ともに90%以上が肯定的な回答をしています。保護者や地域の方や子ども見守り隊の方々には、登下校の際の見送り、出迎え、声かけ、挨拶指導等をしていただき、安全な学校生活を送ることができています。今後も、安全教育の中で学校生活における安全、安心な過ごし方について支援をしていくとともに、計画的な防災訓練を行ったり、交通安全教室や安全に関する出前授業等を実施したりしていきます。

- (9) 子どもは、友だちに嫌がることを言ったり、たたいたりしていない。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	58	31	11	0	100
保護者	47	48	5	0	100
教師	38	62	0	0	100

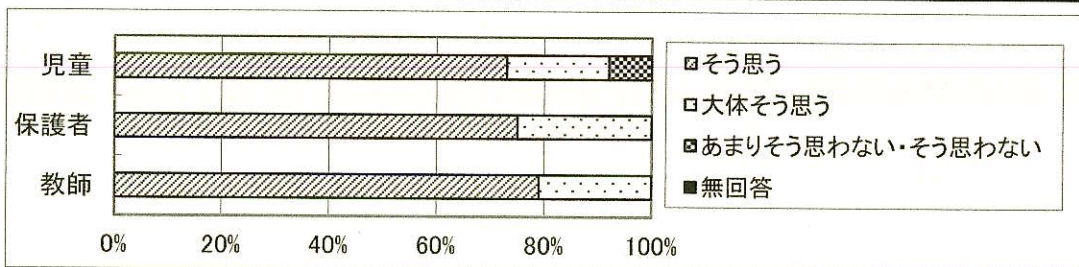


〈考察〉

保護者の95%、教師の100%は肯定的な回答をしています。しかし、児童の肯定的な回答が89%とやや低いです。それは、嫌なことや不安なことが起こったときに、そのことを子どもたち自身がよく考えて振り返っている結果と考えます。友達同士の関わり方については、日々の学習の中で考えさせていきます。また、道徳教育を通して思いやりの気持ちを育めるようにしていきます。さらに、学校生活アンケートやいじめアンケートや教育相談等で普段の学校生活において、一人一人の気持ちを詳しく知り、お互いを認め合う、よりよい子どもたちの関係を構築していくよう努めていきます。また、家庭との連携を十分に図り、子どもたちの学校や家庭での様子を共有し、適切な指導、支援ができるよう努めます。

- (10) 子どもは、学校行事「運動会やマラソン納会など」に頑張って取り組んでいる。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
児童	73	19	8	0	100
保護者	75	25	0	0	100
教師	79	21	0	0	100

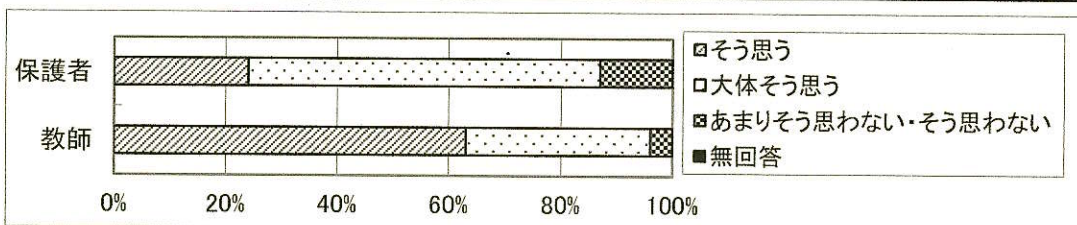


〈考察〉

児童の92%、保護者及び教師の100%が肯定的な回答をしています。今年度は、コロナ禍で縮小や中止となっていた学校行事を例年の方法に戻して実施することができました。学校行事が子どもたちの健やかな成長に欠かせないものであることを再認識し、今後も、更に一人ひとりが活躍する場を設けていくように心がけます。

- (11) 学校は、教育方針(目標)を理解されるよう努めており、その方針が子どもの姿に現れている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	24	63	13	0	100
教師	63	33	4	0	100

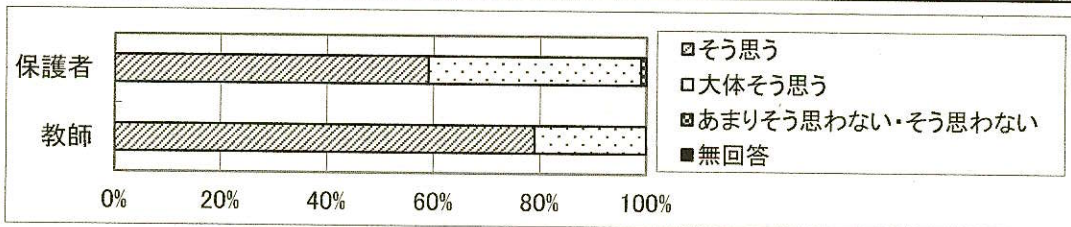


〈考察〉

保護者の87%、教師の96%が肯定的な回答をしています。今年度は、学校の教育目標を「笑顔と活気でやってみよう」という合言葉にして、多くの機会に子どもたちに周知しながら教育活動を実施してきました。また、保護者や地域の皆様にも、わかりやすく周知できるよう心がけました。今後も、本校の教育活動を、これまで以上にわかりやすく具体的に、多くの機会に保護者や地域の方々に提示するように心がけます。

- (12) 学校は、学校・学年だより、ホームページなどで学校の様子・情報を積極的に知らせている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	59	40	1	0	100
教師	79	21	0	0	100

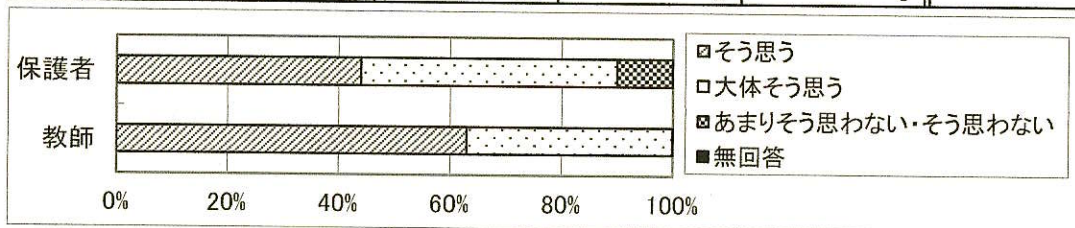


〈考察〉

保護者の99%、教員の100%が肯定的な回答をしています。今年度は、ホームページの更新の頻度や情報の掲載の方法を工夫したことにより、学校の様子がわかりやすくなったというご意見も頂戴しました。また、手紙を携帯電話に送付できるようなシステムも整え、ご好評をいただいています。今後も、さらに、学校だよりや学年だより、ホームページやメール配信等を通して学校の情報を、素早くわかりやすく伝えていけるように工夫改善をいたします。

- (13) 学校は、避難訓練の実施や安全マップ作りなど防災意識を育む教育をしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	44	46	10	0	100
教師	63	37	0	0	100

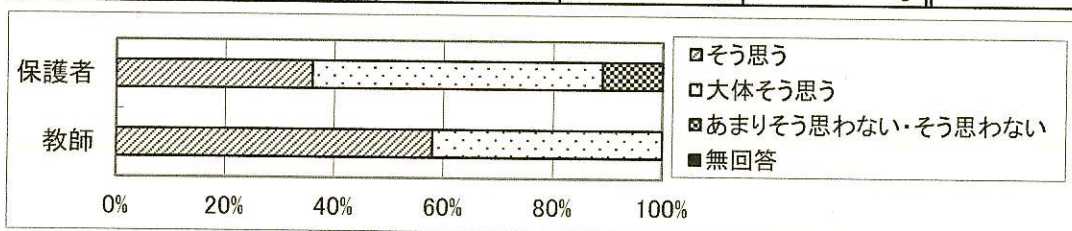


〈考察〉

保護者の90%、教師の100%が肯定的な回答をしています。命を守るために自分で考えて避難できる児童を育てるために避難訓練、ワンポイント避難訓練(休み時間、掃除中等)を実施しました。また、不審者対応の訓練も実施し、警察からの指導も受けました。今後も、防災教育を地道に継続させ、子どもたちの自助・共助の精神を高めていくように努めていきます。

- (14) 学校は、特別に支援を要する児童など、個々の児童のニーズに応じた教育支援を行っている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	36	53	11	0	100
教師	58	42	0	0	100

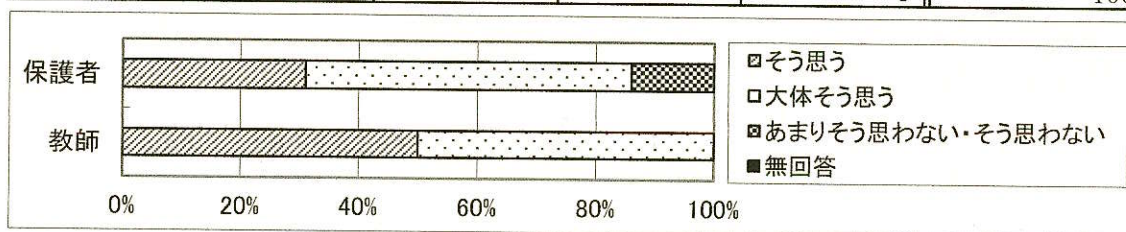


〈考察〉

保護者の89%が肯定的な回答をしています。しかし、保護者の11%は「あまりそう思わない・そう思わない」と回答しています。今後はさらに、特別支援コーディネーターを中心に、子どもたち一人ひとりに寄り添った支援ができるよう努めます。また、保護者との面談による合意形成を大切にしていきます。

- (15) 学校は、各家庭との連携を図りながら児童の学力の向上に努めている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	31	55	14	0	100
教師	50	50	0	0	100

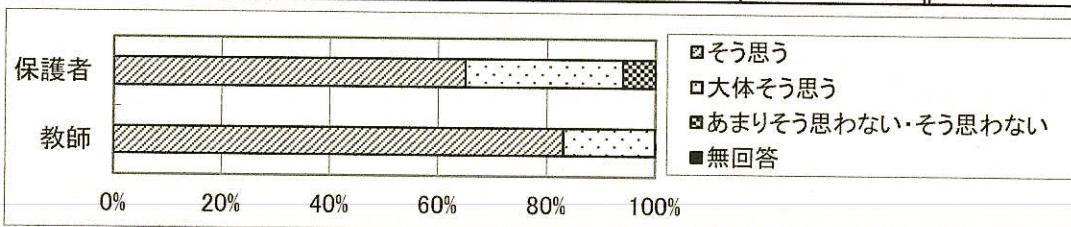


〈考察〉

保護者の86%が肯定的な回答をしています。しかし、保護者の14%は「あまりそう思わない・そう思わない」と回答しています。児童の学力向上には、学校での学習と家庭学習にバランスよく取り組むことが大切です。そのために、学校では研修を通して教師の授業力向上を目指します。家庭では児童が取り組みやすいような宿題の内容や量について学校全体で共通理解を図っていきたいと考えます。

- (16) 学校は、保護者からの問い合わせや来校時に丁寧な対応をしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	65	29	6	0	100
教師	83	17	0	0	100



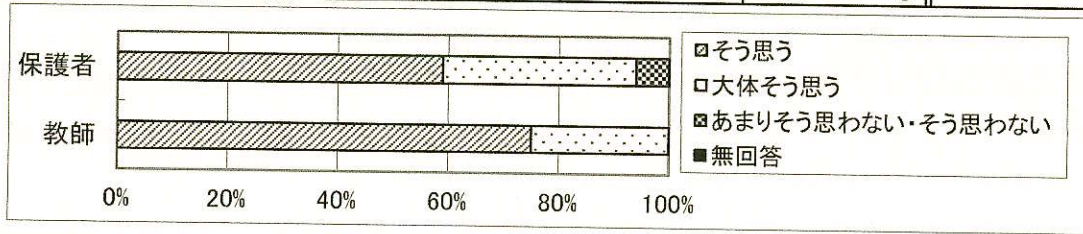
〈考察〉

保護者の94%が肯定的な回答をしています。しかし、保護者の6%は「あまりそう思わない・そう思わない」と回答しています。これからも丁寧で誠実な対応、迅速で真摯な対応を心がけ、全ての方に信頼される学校を目指します。そして、子どもたちのよりよい成長を願って今後も、保護者の方との協力を密にしていきます。



- (17) 学校は、欠席したり、具合が悪くなったりした児童の家庭への連絡などを適切に行っている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	59	35	6	0	100
教師	75	25	0	0	100

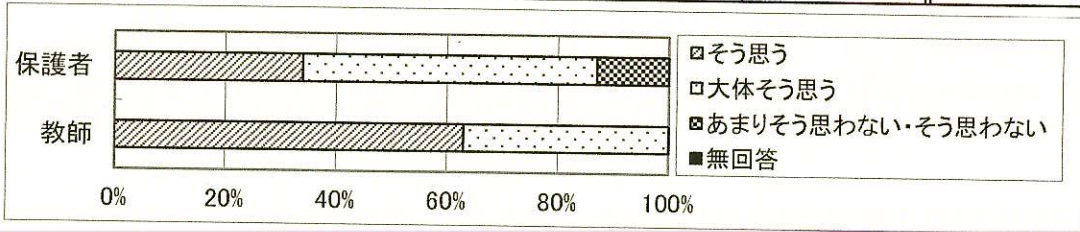


〈考察〉

家庭への連絡については、保護者の94%が肯定的な回答をしています。今後も、保護者への連絡は、丁寧かつ迅速に行うとともに、子どもの病気や怪我に関わることはもちろんのこと、必要に応じて保護者へ情報を提供し、共通理解ができるようにしていきます。そのために、さらに、全教師で児童一人ひとりの様子を目を配り、声をかけ、学校全体で児童への支援にあたります。

- (18) 学校は、児童理解に努め、相談や指導を丁寧に行っている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	34	53	13	0	100
教師	63	37	0	0	100

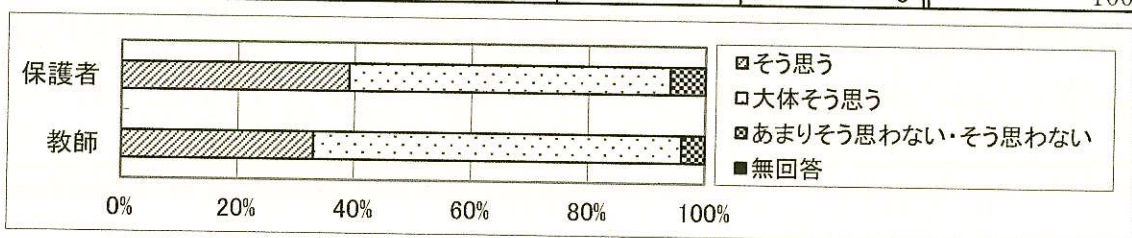


〈考察〉

保護者の87%が肯定的な回答をしています。今後も、保護者の方との連絡を密にしていきます。学校には、心の相談員やスクールカウンセラーが来校します。それ以外にも、どの教師にも気軽に相談できる体制を継続し、さらに児童が安心して過ごせる学校を目指します。

- (19) 保護者は、学校の教育方針（目標）に関心を持ち、学校・学年だより、ホームページなどに目を通してしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	39	55	6	0	100
教師	33	63	4	0	100

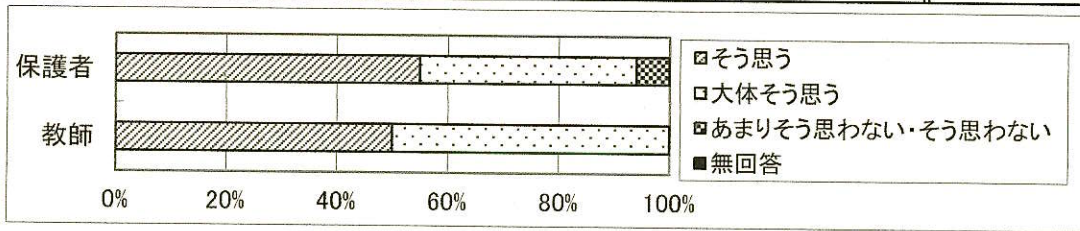


〈考察〉

保護者の94%が肯定的な回答をしています。多くの保護者の協力を得て教育活動を実施できることを心強く感じます。引き続き、わかりやすく教育方針(目標)を伝えていくよう努めていきます。

- (20) 保護者は、学級懇談会や学校行事などに積極的に参加し、子どもの様子を把握しようとしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	55	39	6	0	100
教師	50	50	0	0	100

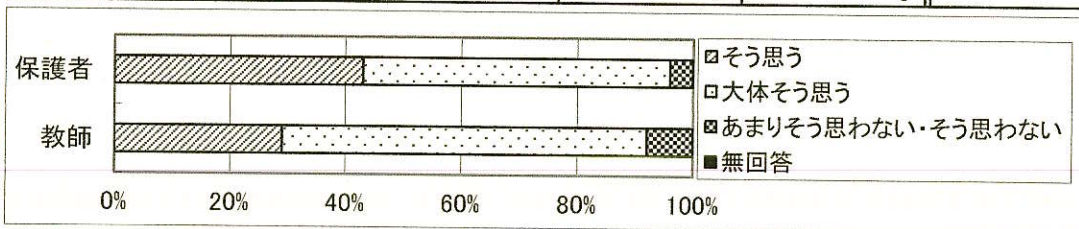


〈考察〉

保護者の94%が肯定的にとらえています。保護者の学校教育活動に対する関心が高く、学校行事への参加率がとても高いです。多くの保護者に協力いただけることをとても心強く感じます。今後も、わかりやすく情報を発信し、多くの保護者が参画しやすい学校づくりを心がけます。

- (21) 保護者は、児童の家庭学習の必要性を理解し、提出物などもしっかり提出するように声をかけている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思わない	無回答	計
保護者	43	53	4	0	100
教師	29	63	8	0	100

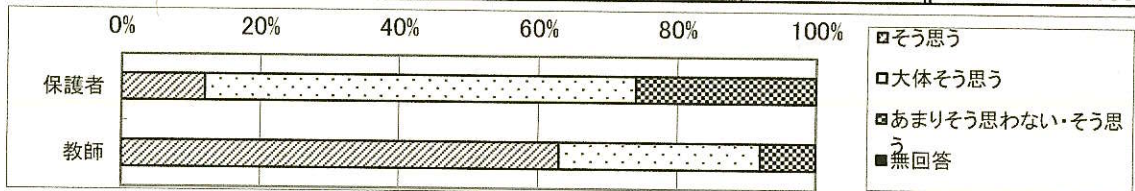


〈考察〉

保護者の96%、教師の92%が肯定的な回答をしています。学力向上には、学校と家庭との連携が不可欠です。学校では、これからも学力向上につながるような課題を出し、提出を習慣化することの意義をていよう心がけていきます。家庭でも、引き続き、子どもたちへの声かけをお願いします。

- (22) 布佐中学校区では小中一貫教育の充実に努めている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない・そう思う	無回答	計
保護者	12	62	26	0	100
教師	63	29	8	0	100



(23) 布佐中学校区が行っている「小中一貫教育」で効果的だと思うものは。(複数回答可)

保護者

- ・6年生の布佐中登校(71%)
- ・小中高合同挨拶運動(35%)
- ・小中一貫教育カリキュラムの活用(28%)
- ・教職員の小中合同研修会や打ち合わせ(24%)
- ・校長、教頭、教務主任が参加する会議(21%)
- ・夏休み小中合同学習会(19%)
- ・特別支援学級の小中交流会(18%)
- ・グランドデザインの作成(7%)
- ・中区合同教育ミニ集会(5%)
- ・合同の行事、クラブ活動
- ・なし、わかりません、特に何も思わない
- ・小中一貫教育自体に反対

教師

- ・6年生の布佐中登校(75%)
- ・小中高合同挨拶運動(67%)
- ・教職員の小中合同研修会や打ち合わせ(54%)
- ・校長、教頭、教務主任が参加する会議(50%)
- ・小中一貫教育カリキュラムの活用(46%)
- ・グランドデザインの作成(38%)
- ・特別支援学級の小中交流会(25%)
- ・夏休み小中合同学習会(21%)
- ・中区合同教育ミニ集会(21%)
- ・その他(4%)

(24) 布佐南小学校でできる「小中一貫教育」とは。

別紙に記載

〈(22)～(24)考察〉

教師が92%肯定的な回答をしていますが、保護者は74%とやや肯定的な回答が低いです。これは、保護者や地域への周知が不足している、ということが課題であることが読みとれます。今後も、わかりやすく情報を保護者に周知し、布佐中区の小中一貫教育の理解を深めていけるよう努めます。

また、保護者と教師で一番多いのが「布佐中登校」であることから、実施に子どもたちが中学校での交流活動を実施することが効果的であることがわかります。それ以外には、保護者と教師で違いがありますが、比較してみると保護者が、目に見える形での人と人の交流を期待していることが読み取れます。今後も、目に見える形での小中一貫教育の推進を心がけていきます。

この「小中一貫教育」とは別に、我孫子市教育委員会では、「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」を設置し、今後の布佐中学校区の児童生徒にとって最適な学習環境について検討してきました。令和6年2月13日に、本検討委員会から我孫子市教育委員会教育長に提言書が提出され、今後はその提言を踏まえ、一体型小中一貫校の新設に向けて準備を進めていくと聞いています。

(25) 布佐中区が行っている「コミュニティ・スクール」で効果的と思うものは。(複数回答可)

保護者

- ・地域の登下校の見守りや挨拶運動(60%)
- ・地域行事への学校からの積極的参加(47%)
- ・学校行事への保護者や地域の協力(46%)
- ・ランドデザインの周知(19%)
- ・学校運営協議会の実施(18%)
- ・教育ミニ集会の実施(6%)
- ・要望アンケートの実施

教師

- ・学校行事への保護者や地域の協力(92%)
- ・地域の登下校の見守りや挨拶運動(71%)
- ・ランドデザインの周知(38%)
- ・地域行事への学校からの積極的参加(29%)
- ・学校運営協議会の実施(29%)
- ・教育ミニ集会の実施(25%)

(26) 布佐南小学校でできる「コミュニティ・スクール」とは。

別紙に記載

〈(25)(26)考察〉

保護者と教師ともに、「地域の登下校の見守りや挨拶運動」や「学校行事への保護者や地域の協力」が多いことがわかります。今年度は、保護者や地域の協力を得て、子どもたちの「笑顔と活気」のために、様々な学校行事や学習活動を行うことができました。今後も、コミュニティ・スクールを創っていくために、教師、保護者、地域が一体となって児童を見守り育むことを大切にしていきます。

## ② 保護者自由記述

※いただいたご意見については極力、原文のまま掲載してあります。ただし、ご意見の中で、個人が特定される可能性があり、そのことが憶測を生んだり、個人や周りの人の気持ちを困惑させたりする可能性があるとして学校が判断した文言については、割愛させていただきます。

## 自由記述一覧

### (24) 布佐南小学校にできる「小中一貫教育」とは。

- 交流球技会など、生徒同士が直接触れ合っ楽しめるもの行事で交流があってもいいと思いますが、それ以上は不必要です。先生の仕事を増やす必要はありませんし、子どもたち特に中学生は自分のことに精一杯です。小中で分かれているからこそ、その枠組みの中で責任もってけじめが付けられるものです。多少の文化体育的交流はいいとしてもそれ以上は足枷でしかないと思います。
- 6年生の中学校交流以外に布佐小の各学年の交流ももっとしていいと思う。月1~2回など日数を増やし一緒に授業をしたり中学校で合流する際の負担の軽減や学年のクラス数が少ない事による意識の低下やコミュニケーション力の向上は図れるように思います。
- 特になにも思わない。
- 中学生が小学校へ訪問し、一緒に学習する場を設ける。
- 中学校の部活の見学
- 小中一貫教育のメリットをあまり感じない。むしろ中高一貫の方が効果的なのではないか。小学校はもっと子どもらしく自由な環境で道徳的感性や、人間性等を磨く場所であった方がよい。中高でもっと勉学(それぞれの分野、専門的に)力を入れていく教育が良いと思う。
- 年に一回、小中合同の行事があると交流ができて良いと思います。全学年が難しければ、4~6年生と中学1~3年生のみで行う、など。
- 小中一貫教育に当たるかはわかりませんが、南小も布佐小もお互い一クラスずつなので、校外学習(宿泊学習含む)を一緒に行くっていうのもありなのかな?と思いました。校外学習など同じところに行くことも多いみたいですし、大体の子は中学で一緒に通うことになると思うので。また、人数が少ないとどうしてもバス代等が高くなったりするみたいなので…。
- 全ての学力の基盤は国語力なので、漢字や語彙を継続して習得するカリキュラムはいかがでしょうか。
- 部活や行事を布佐小で行う。(勉強よりも体を動かした方が絆が広がる。)
- 我孫子市として、小中一貫教育はもう決定事項なのではないでしょうか?南小がなくなることで、平和台地区はさらに高齢化が進むことは間違いないと思います。さらに現在南小に通っている南新木地区に住む子どもたちの多くが新木小に移動することが考えられます。地域への説明会だけでなく、小さい子どもがいる家庭、通っている保護者関係者への限定した説明会を開催することは難しいでしょうか?地域の方対象となると、他人事となりなかなか参加しない保護者が多いので。

○どんな部活をしたいか、作って欲しいかもっと積極的に聞いて欲しい。そして意見を出  
来るだけ尊重するようにして欲しいです。野球部を復活して欲しいです。子供も中学校  
の先生に言ったけどダメって言われたと言ってショックを受けていました。

○合同運動会をやってみる

○行事や部活を一緒に取り組む。コロナ禍が落ち着き、交流ができるのであれば、運動会  
やバザーなどの行事で卒業生枠を設けることだったり、職場体験などの受け入れなど布  
佐中と連携が図れば良いと思う。

○児童数も少ないので、南小学校を中学校と合同施設として使い、布佐小中は別の目的の  
施設として利用するなどはいかがでしょうか。

#### (26) 布佐南小学校でできる「コミュニティ・スクール」とは。

○大人たちが子供と関わる機会を多くもつことです。可能な限り朝の見守り番を行い、子  
供の安全を守るとかあいさつをするだけでも子どもは健やかに育つと思います。当たり  
前のとても些細なことをつづけることが大切だと思います。遠慮なく保護者にお申し付  
けください。

○特にない。

○地域の高齢者の団体との交流。

○地域の近隣センターの行事への学校参加。

○すぎの子ども会会の活用。

○地域行事に小、中学校が参加する。

○中学校で一緒になるので、布佐小との交流が少しあっても良いのかなと思います。

○地域の活性化と子ども達の為に、給食で利用する食材を地域の農家(無農薬)で子ども  
たちと一緒に作る。農業の授業を週1~取り入れる。

○学校の花壇を地域の人に使ってもらう。

○学区の明確化を。実質的自由学区制では地域がまとまりません。(南新木1. 2丁目)南  
小縮小化、廃校化への下準備はやめてください。

○布佐小と南小では保護者の地域との関係性に差があると思います。早期に交流しそこに  
保護者や地域の方々が参加して同様の意識を持つ機会があれば子供たちの不安は軽減  
されます。

○よく子どもから別の小学生から意地悪されたからかわれたと聞きます。近隣の小学生同  
士で仲良く交流できないのは問題なのでは?と感じます。地域の公園で出会ったら仲良  
く遊べるくらいのコミュニケーション力は地域向上の為には必要なのでは?

○昔(私が子供のころ...30年も前のことですが)南小では、秋に焼きいも大会がありまし  
た。校庭でドラム缶を置き、先生、児童はもちろん保護者や地域の方(おじいちゃんお  
ばあちゃん)と一緒に芋を焼いて食べた光景は忘れられない思い出です(笑)

- 人数も少なく移動しやすいので、電車やバスなどで社会科見学のような事を一緒にできたら良いです。
- 職業体験などは地域の方にご協力を得れば何かしら良い経験ができるかもしれません。
- のびのびタイムで交流遊びをしていますが、保護者や地域の方も参加する機会などがあると、家のまわりの方々と知り合えていいかもしれないと思いました。
- 布佐方面と新木方面で地域行事が分かれてしまっているのが、学校近くでも何か行事があるといいです

### 布佐南小学校の良い点・よくなった点

- 子供たちをみていればその良さがよくわかります。少人数のファミリー感いっぱいの環境が子どもたちには最高の環境です。子どもたちは風邪などで学校に行けないと涙を流して悔しがります。いつもすばらしい教育活動をありがとうございます。
- いつも暖かく、丁寧なご指導ありがとうございます。行事等で一人ひとりが主体となり、活動している姿を見ることが出来ます。先生と児童、児童同士の距離が近く、異年齢の交流が多いところも南小の良いところだと思います。
- どの先生もととても感じが良く話しはしやすい。
- 校長先生をはじめとし、先生たちも本当に子どもたち一人ひとりのことをとても良く見てくださっていて、安心して学校に通うことが出来ています。また地域の方々の見守りも毎朝、本当にありがたい限りです。お陰で子どもたちはみんなすすんで挨拶もよく出来る子に育っています。
- 児童みんなが伸び伸び生活できている。
- 中庭や校庭など、広々とした環境が気持ち良いです。
- 悪天候時やその他のお知らせがメール配信されるので助かります。
- 学校の給食がおいしいおかげで苦手な食材などにも挑戦してくれるようになり、良かったです。
- 担任の先生が子ども達の声に耳を傾けようとしていて(上からコントロールするような今までの教育と違って)子ども達の主体性を引き出そうとしていて凄く良い。安心して子どもを学校に送りだせる。こういう先生が増えて欲しい。
- 学年問わず顔見知り、仲よし。
- 少人数校であるお陰かもしれませんが、先生方や他学年の子が子供の名前を覚えてくれて、声をかけてもらえることが多い気がします。
- バザーでの外部のキッチンカーの取り入れ。
- 子どもたちは、楽しく元気に通えているので、南小に通わせてよかったなと思います。
- 支援級には満足している
- 歌はクラスごとで発表を。



- 少人数でアットホームなところがよい。
- 毎朝、校長先生や教頭先生が校門や通学路で子どもたちを出迎えられている姿を見ると、子どもに寄り添われているなと思います。
- 南小は給食が美味しいのが有名なんだよと子どもたちから話を聞きますし、献立にもコメントが細かく書かれていて読むのが楽しいです。いつもたくさんおかわりしているようです。
- 去年は毎週、今年も隔週で学級便りが頂け、クラスの様子が書かれてあるので楽しみにしています。
- 少人数の学校なので学年を超えて関わったり先生方が全生徒の事を知って頂ける環境はほんとに恵まれていると感じています。6年間安心して生活出来るのは良いことだが、そこから離れた時の強さには不安があります。子どもの様々な困難に対しての配慮や援助には先生方も大変さをお持ちであると思っています。我が子に対しても、皆と同じように出来る事を楽しめるようにご配慮頂き感謝しております。ただ、学習についてはまだまだ困難さが補えず半分諦めている我が子の姿も増えました。家庭で出来る事も限られて親としても半分諦めるしかないのかなと向き合う事の難しさを感じています。今後の教育の場にもっと頼れる人員を増やしどの子にも保護者にも学校に行かせて良かったと心から感じられる環境を望みます。退職された教員の方、教師を目指す学生、資格を持ちながらも活かせてない方などもっと学校で活躍して頂く方法はないのでしょうか。ひとクラス30人の教育は大人にも子どもにも負担があります。未来を担う子どもたちがどの子も認められて自信を持って生きて欲しいと願います。

---

- スクリレの活用はありがたいです。
- 一人一人の悩みを丁寧に聞いてくれる。
- 先生方もすごく手厚いフォローや教育をしてくださってすごく助かっております。
- 少人数の為、何かあった時に把握がしやすい。
- 友達の名前やどんな子かわかりやすい。
- 全校の密度、歌声
- 地域柄少人数の学年が多いですが、イジメなどもなく安心して通わせられる所。
- 天候等イレギュラーなことに対して、こちらがどのようにすればよいのかを的確に伝えてくださるので本当に助かります。他の保護者の方は学校からのメール連絡が多くなったと感じているようですが、私個人としては細やかな対応をくださると安心して通わせることができるので先生方の負担にならなければ、これからも続けてほしいです。
- やはり学年関係なく仲が良いところは、少人数ならではの良い点だと思います。
- 子供達は他の学年の子の名前なども全て知っていて、凄いといつも思います。
- 学校に行った時など、挨拶をしてくれる子が多く、日々の積み重ねなんだろうなと思います。
- 廊下に行事ごとの子供達の写真が飾ってあり、子供達が楽しく過ごしている様子がわかり、とても嬉しくなります。

- 先生は優しく、時に厳しく、子供は先生の事が大好きです。毎日学校に行くのを楽しみにしています。そう思える環境を作ってくれている先生方に、感謝でいっぱいです。いつもありがとうございます。
- 今年度は本当に安心して子供を送り出す事ができました。連絡も細かに伝えていただけなので、子供を優先した予定が立てやすく感謝しています。
- 天候等により行事が変更になった際、早い段階で次の予定をたててくださり、先生が子ども達の学びの場を確保しようと動いてくださったことがとても嬉しかったです。
- 担任の先生だけでなくスクールサポの先生も、一人一人の個性に合わせて工夫してくださる先生がいらっしゃる、安心して子供を送り出せます。また、校外学習の振替先など早急に手配して頂き感謝しています。
- 手紙等がメール配信になったのは、とてもいいと思います。
- けっきーTシャツと体操服、キーホルダーとてもいいと思います。またバザーで期待しています。
- 6年生の布佐中登校はとてもいいと思います。入学前に行く事で、子供も安心する部分もあると思います。
- 学校ホームページの更新を頻繁にしてくさるので、子供達の日々の様子がわかり、いつも楽しみに見えています。文章も楽しみにしています。忙しいなか更新して下さり、いつもありがとうございます。
- 年間行事予定も追加や訂正があると、すぐに修正されるのでとても助かります。
- 学校に電話をした際に、電話対応して頂く先生方や、子供が遅刻等で登校した際の事務室の先生方の対応もとても親切で、いつも感謝しております。
- 子供が欠席した時に電話連絡をくださるのはもちろんですが、行事の練習等で子供が頑張っていたとわざわざ電話を頂いた時はとても嬉しかったです。
- 子供に寄り添って頂いていて、校長先生をはじめ、先生方にはいつも感謝しております。本当にありがとうございます。
- 大きな声で歌を歌うところ

#### 布佐南小学校の更によくなってほしい点

- 特に今のままでそれ以外は望みません
- 小学校の手厚いご対応には感謝しておりますが、先生やその他の職員さんや学連協の皆さまなど、学校を運営する方々の負担が増えすぎることがないように、どうぞご自愛ください。
- 2月の授業参観はどうして2日に分けてなのか知りたいです。兄弟で連日となると仕事をしている人は2日連続で休むこととなります。
- 学力向上面でもっと厳しくなってほしい。少人数教育を最大限に活かしてほしい。家庭でもバックアップします。

- 強いて言うならば、中学校との学習参観の日程をかぶらせないでもらえたら嬉しいです。今年度は同じ日、同じ時間帯に学習参観があった日がありました。また、卒業式の日も午後は中学の学習参観があるので(昨年度もそうだったと思います)、話し合いをして、ずらすことはできないのかなとおもいました。あと、大谷選手のグローブですが、6年生が卒業する前にたくさん使わせてあげてほしいと思います。よろしくお願ひします。
- 毎年出る意見かとは思いますが、子どもたちの健康的な生活の為にも、トイレの改修をぜひお願ひしたいです。改修工事が難しいようでしたら、トイレの臭い対策や掃除方法の改善などもご検討いただけるとありがたいです。
- マラソン納会の際、男子ばかり表彰されるのはいかななものか。そもそも男女混合で競う事も疑問に思う。高学年になると体格差もあり、同じ距離を走って男子が速いに決まっている。不公平さを感じる。人数が少ない中、男女混合で走るなら、せめて男子の順位、女子の順位を表彰してあげた方が女子の保護者も喜ぶと思う。実際に娘が「女子の中で1番になる!」と頑張り、結果1番になれたのに表彰されず男子ばかりが拍手をもらっていて、とても気分が悪かった。
- 担任が大声を出して子どもを叱りつけている、と他の保護者から何回か聞いた事がある。何度か注意をして、それでも聞かなくて大声を出すならともかく、最初から大声で叱っているとのことなので、それは威嚇と同じなのではないかと感じた。子どもの言い分をもっと聞くべきではないか。
- 南小学校に限らず、全般的に学校の老朽化が進んでいます。子供の施設等により予算を当てて頂きたいです。無機質でなく明るく温かみのある施設を望みます。トイレを洋式にしてほしい。
- 前にあった草むしりの時間、もっと長くしてほしいです。せっかく時間作って行ったのでどうせならもっとガッツリやりたかった。もっと保護者への協力を求めてほしい。
- 子どもに対して説明をする際、納得いく説明をきちんと行ってほしい。何故怒られているのか、何故ダメなのか。腑に落ちてない様子に気がついてほしい。
- ある先生から児童への不適切な発言があったことを児童から聞きました。その方はもう少し生徒、人の気持ちへの配慮が必要なのではないかと思いました。
- 学校への訪問が車でないと困難な家庭に対して、規則という一言で追い返す。という考え方もいかななものかと思ひます。
- 昭和的な学校形態(先生が指示して子どもが従う)をやめる。もっと子ども達が自分で考え意見を言える(子供が自分達でクラスのルールを考えたり等)環境を作って主体性を育む=大人が子どもの声を聞いてサポートする、あくまでも子供が主体の学校形態に変える。
- もっと先生方の専門知識や経験の向上が必要。
- スクリレで、手紙の添付ページの最後に、手紙についての情報の文言のみのページがありますが、あれは不要だと思います。手紙を見ればわかりますし、わざわざ開くのが面倒に感じます。
- トイレの改善(明るさ、異臭など衛生面の改善)
- 少人数を活かした特色ある教育を。

- 仕事をしている保護者が多いと思います。平日の参観や懇談会、PTA活動はかなり無理があります。我が子の姿は見たい。学校に関わりたい気持ちはあります。出来れば参観や懇談会、役員の会議などをオンライン参加ありにしてほしいです。早期の実現を希望します！
- 音楽発表会など行事にステージを使う。ステージから演奏する緊張感と達成感を味わう為。
- ある先生から授業中立たされたと聞いております。そういうパワハラは無くなって欲しいです。
- 行事や部活動が盛り上がり過ぎて欲しい。
- 部活動やクラブ活動などの衰退。少ないなりの活動内容だったり、発信方法で個々でも団体でも底上げをはかるリトミックを取り入れるとか、簡単な曲目でのマーチング等、楽しいこと、自信ややり甲斐を感じてほしい。
- 児童が帰宅後、学校の校庭に遊びに行けるようにしてほしい。
- 少人数を改善はなかなかできないので、少人数ならではの、教育的な経験をさせて頂けたら嬉しいです。
- 学習参観時に、言葉がとても乱暴な子がいました。真剣になるとつい出てしまうのだと思いますが、よくなればと思っています。
- 運動会で3、4年生のソーラン節がなく、楽しみにしていたので少し残念でした。
- 良い面でも書きましたが、今年度は安心して子供を送り出せました。ですが、昨年のアンケートで回答した文章が一部、文言の修正や意図的に削除されていました。固有名詞のないものや暴言でもない限り、ニュアンスを変えられては真意が伝わらなくなるのでそのまま掲載していただきたいです。時間をかけてアンケートを書く意味も薄れてしまいます。(昨年度の事ですが、現状の南小の良いところを来年度以降にもつなげて欲しいので、あえて記載しました)
- 海外のお子さんが転入してくるのは仕方のないことですが、言葉の壁等で嫌な思いや少なからずトラブルがあると子どもから伝え聞きます。文化の違いはそれぞれの育ってきた環境もあるのでお互いに尊重し合ってほしいですが、言葉の壁は子ども達だけではどうにもできないことだと思います。通訳の先生も期限付きで配置して下さったようですが、お互いがお互いの国の言葉が分からない状態なので、意思の疎通が難しいと思います。通訳の先生がいれば、その場でそれは言うてはダメだと指導も出来たと思います。受け入れることに対してはいろいろな国の友達が出来、なかなか経験できることではないのでいいと思いますが、受け入れた後にもう少し先生方が子ども達の力になっていただければと思います。
- 高学年になり算数でつまづく事が増えてきました。どの教科も過去に習った知識や応用の上に成り立つと思いますが、特に算数において、前学年での定着が出来なかった影響を痛感しています。先生の経験年数や年齢関係なく、子供たちが考え方を理解できる工夫を尽くして授業していただけるとありがたいです。家庭でも教えていますが、担任の先生1人で難しいのであれば、スクールサポの先生や管理職の先生方にバックアップしてもらいながら、子供に理解出来るよう、教え方に柔軟性を持たせて欲しいです。
- 運動会の応援団の並び方が、5年生が手前で6年生が奥側だったのでビデオが撮りづらかったです。6年生は最後だし、手前側の見やすい位置がよかったなと思いました。

○音楽フェスタで今年も6年生は和太鼓をやるのかと楽しみにしていましたが、今年はなくとても残念でした。見たかったです。

#### 【アンケート結果をふまえて】

本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。今年度は、コロナ禍で縮小や中止となっていた学校行事や学習活動などを、感染症に留意しながらも制限なく実施することができました。

これらの活動の一番の目的は、南っ子たちの「笑顔と活気」のためです。そのことを、「やってみよう」の気持ちで教員、保護者、地域の子どもたちに関わる全ての人が理解し、力を尽くすことが、本校の学校教育目標を達するために大切なことであると考え、今年度の教育活動を実施し、周知してきました。

そのために、「笑顔と活気でやってみよう」という合言葉を、まずは教員に周知の上、行事や全校朝会や児童会の実施する活動や各学年の学習活動の中で、子どもたちに伝え、目的を共有しました。

そして、その中において、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、「登下校の児童見守り」「清掃活動」「除草作業」「七夕集会」「ミシンやのこぎりの学習ボランティア」「町探検ボランティア」「読み聞かせ」「昔遊び」など、様々な活動を実施することができましたことに感謝申し上げます。そして、それらの学校での教育活動について、今回の学校評価で多くの保護者の皆様に評価いただき応援のメッセージをいただきましたこと、うれしく思います。

南っ子たちの「笑顔と活気」のために、今年度、学校教育にお力添えをいただきました保護者の皆様や地域の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校評価でいただいた意見の中には、学校行事のあり方や、個に応じた支援のあり方、教員の指導・支援の方法、学校の教育相談に関する体制づくり、等に関することが含まれていました。それらのことを、まずは学校が真摯に受け止め、改善に向けて努力をしたいと考えます。その努力もまた、南っ子たちの「笑顔と活気」のためです。そして、保護者や地域の皆様の理解と協力を得ながら、共によりよい学校づくりをしていきたいと考えます。今後とも、南小が「笑顔と活気」に溢れる学校であるように、教員、保護者、地域の皆が力を合わせて「やってみよう」の気持ちで、学校教育を推進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### ③ 兒童自由記述

学校評価アンケート（児童用） Q：南小の自慢できるところ

4～6年

- ・給食がおいしい
- ・給食が美味しい
- ・校庭が広くて、給食がおいしいところ
- ・いじめが少ない
- ・校庭が広い、挨拶が元気、給食がおいしい
- ・全校生徒全員が元気いっぱい
- ・みんな違う学年でも先生でも通学路の地域の人にも元気に挨拶しているところ。学校の行事などにもしっかりと取り組んでいるところ。そして仲良しなこと。
- ・仲がいい ・笑顔が素敵
- ・自分から挨拶ができる ・みんな明るい ・みんなやさしい
- ・南小学校の自慢は給食がものすごく美味しいです
- ・いじめなどがあまりない
- ・校庭が広い 給食が美味しい 元気な人が多い
- ・給食がおいしい。
- ・校庭が広い ・給食がおいしい
- ・いじめが少ない。給食がとても美味しい。校歌がある。
- ・校歌のアルトとソプラノがあること
- ・校歌に第一と第二があるのと校庭が広いことだと思います。
- ・とても元気 あいさつがおおきな声でゆえている
- ・給食が美味しい ・みんな仲良し
- ・給食美味しい ・みんながのびのびしている
- ・みんな仲が良い
- ・折り紙がクラスで一番上手いこと
- ・個性豊か 元気
- ・給食がおいしいところ、人が少ないところ、静かなところ、校歌がきれいなところ、エアコンがあるところ、校庭が広いところだと思います。
- ・外国語をしゃべれること
- ・誕生日給食があるところ
- ・元気 ・人が多くてみんな、やさしい
- ・人数は少ないけど、挨拶とか、協力できることだと思います。
- ・自然が豊かで緑が多いところ。
- ・みんなが朝、元気に挨拶していること
- ・家庭科
- ・お誕生日給食があること。
- ・給食がおいしい、少人数だから一人一人と仲良くなれる、校庭が広く使える
- ・読書している
- ・友達と仲の良いところ ・楽しい
- ・勉強がわかりやすいから

- ・みんな元気で優しいことと、イベントや交流遊びがあるところです。
- ・パソコンがあること。
- ・学校の勉強がわかりやすいから。
- ・給食がおいしい。友達や先生が優しい。中庭にでっかいじゃぶじゃぶ池があること。
- ・布佐南小学校は、1年生から6年生まで全員、元気がいっぱいなところです。
- ・遊具がたくさんあるところ。給食がおいしいところ。
- ・南小学校には中庭があるのが自慢できると思います。なぜなら、近隣小学校にはないけれど南小にはあるからです。
- ・あまり火事が起きないこと。友達が優しいこと。みんなが面白いこと。
- ・授業が楽しい。給食がとてもおいし。みんな優しい。
- ・一クラスしかないから、他の学年とも友達になれる。
- ・理科の実験が楽しい。
- ・いいところは、学校に行きたくなることです。
- ・給食がおいしい。
- ・給食がおいしい。先生達が1人1人に対応している。
- ・色々な教室がある。勉強が楽しい。自分で野菜などを育てられる。それを給食でみんなに食べてもらうことができる。
- ・学年関係なく仲が良い。スポーツが得意。
- ・遊具がたくさんあって遊ぶのが楽しい。
- ・南小学校は、「笑顔と活気でやってみよう」という合言葉をみんなでやっていてみんなが笑顔です。そしてマラソンでみんなが頑張っています。
- ・給食がおいしい。校庭が広い。挨拶が大きい。友達との仲がいい。
- ・行事がたくさんあるので、いい体験やいい勉強ができるところ。(モーモースクール、伝統芸能など)
- ・校庭が広い。行事がたくさんあったりする。色々な先生がいる。
- ・色々な体験ができる学校。
- ・給食がとてもおいしい。ゆるキャラがいる。校庭が広い。中庭がある。遊具が多い。植物が植えてある。けやきが校門の前にある。校歌が三番まである。校歌のパートが違う。
- ・挨拶運動があり校長先生に自分から元気よく挨拶できる人がたくさんいる。
- ・人数が少ない
- ・校歌が二つあって小椋佳さんが作っているところ
- ・皆仲がいい所

### 1～3年

- ・図工が好きです。作るのが好きです。
- ・ブランコがあるところが自慢です。
- ・校庭が広い。
- ・給食がおいしい。 ・みんなが優しい。 ・遊びが楽しい。 ・勉強が楽しい。
- ・みんな優しい。
- ・みんなが優しいところです。
- ・いつも給食がおいしい。
- ・先生がみんなとても優しく、校庭がとっても広い。



- ・南小学校のみんなは何でもできる。　　・南小のみんなはあきらめずに頑張っている。
- ・一番絵を描くことが楽しい。
- ・大きな木がある。　・先生が優しい。　・みんな優しい。　・広い。
- ・みんな頑張り屋さん。
- ・校庭が広い。　・給食がおいしい。　・友達が優しい。　・友達とすぐ仲良くなれる。
- ・友達がいっぱいいてあんまり喧嘩がない。
- ・外が広い。　・友達がいっぱいいる。　・友達が多い。
- ・がんばり山があることです。
- ・私はもっと友達と仲良くなれるように頑張りたいです。
- ・先生が優しい。　・悪い言葉や嫌な言葉を言う人がいない。　・みんなとっても優しい。
- ・優しい友達と遊ぶのが楽しい。
- ・けっきーがかわいいから自慢したいです。
- ・南小学校の全校児童が優しい。　・がんばり山は高い。
- ・友達も先生も優しく、だめなことをしたらちゃんとおこってくれます。
- ・布佐南小の給食は、調理員さんの愛がこもっていてすごくおいしいです。
- ・布佐南小学校の給食がおいしい。
- ・喧嘩が少ない。　・図書室や色々な教室がきれい。
- ・自慢できるところは、楽しくて勉強や給食をがんばれるところ。
- ・南小のいいところは、みんなが優しくて喧嘩をあまりしないこと。
- ・みんな笑顔で親切なところがいい。
- ・給食がおいしいし校庭が広い。
- ・給食がとってもおいしいです。
- ・昔遊びがとてたたくさん種類があつて、とてたたくさん楽しいです。
- ・タブレットで色々なことを学べる。
- ・布佐南小学校は楽しい場所だよ。　・給食がとってもおいしい
- ・南っ子マラソンでがんばれるところ
- ・南っ子マラソンで一生懸命走ると速く走れて上位に入賞できてうれしくなれるところ
- ・マラソン大会　・足が速い人がいっぱいいるところ
- ・南小は、業間休みに遊べて楽しいよ。図工や音楽もできます。
- ・学校は楽しいです。特に昼休みは友達と鬼ごっこなどをします。学校では色々なことができます。
- ・南小学校は楽しいところだよ。　・掃除が楽しい。　・漢字の勉強ができる。
- ・保健室の先生が優しい。
- ・学校はとっても楽しいし、とても学べる。
- ・みんなががんばっているところ。
- ・給食がおいしくてみんなと仲良しだから。
- ・楽しいクラス
- ・がんばり山がある
- ・きゅうしょくがおいしい先生がおもしろい
- ・黒板があるとこ
- ・学校の給食がとってもおいしいからです。
- ・しょうこうぐちにおおきなけやきのきがあること

- ・ご飯がおいしいところです
- ・がんばり山があるところ。目の前に公園があるころ。
- ・友達がたくさんいる。
- ・ブランコやがんばり山がある。
- ・友達がいっぱいいる。
- ・全員誰でも挨拶しているところ。仲のいい友達がたくさんいる。
- ・遊具が多い。山がある。
- ・給食がおいしい。先生が面白い。
- ・給食がおいしい。
- ・いじめがない。
- ・みんなと仲良くできる。
- ・給食がおいしいこと。
- ・昇降口に大きなけやきの木がある。みんな優しいこと。
- ・がんばり山やいろんな遊具があるところ。
- ・給食がとってもおいしいからです。